

トマトのトマトキバガの発生状況と防除対策

本種については、令和4年8月にトラップ調査において県内で初めて捕獲され、特殊報（令和4年8月26日付）を発表し、その後農作物への被害を危惧し警戒してきたところですが、本年8月にトマトにおいて幼虫による食害が県内で初めて確認されました。

については、トマト及びミニトマトの栽培ほ場において本種の被害を確認した場合は、直ちに防除を行ってください。

1 発生状況

- (1) 県内5カ所（岩国、防府、宇部2、下関）のトラップにおいて、継続的に成虫が捕獲されている。
- (2) 令和6年8月21日に、本種による加害が疑われるトマトの果実・茎葉と幼虫の持ち込みがあり、トマトキバガであることが判明した。
- (3) 当該トマト産地における本種の被害はハウス1棟のみで、周辺ハウスや県内他産地等における食害は確認されていない。
- (4) 本種は、これまでに国内42道府県において捕獲又は作物への被害が確認されている。

2 トマトキバガによる被害

トマトでは、葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、食害部分は表面のみ残して薄皮状になり、白～褐変した外観となる。食痕はハモグリバエ類の被害のような筋状にはならず塊状となり、虫糞は葉の外側に排出される（写真1、2）。また、果実に幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に数mm程度の穿孔痕が生じる（写真3、4）とともに、食害部分の腐敗が生じ、果実品質が著しく低下する。

寄主植物としては、トマト、ナス、タバコ、バレイショなどのナス科植物の他、マメ科のインゲンマメが確認されている。

3 トマトキバガの特徴

(1) 生態

- ア 1年に複数世代が発生し、繁殖力が高い。発生世代数は環境条件によって異なる。卵から成虫になるまでの期間は24～38日程度で、気温が低い時期は更に期間が延びる。また、発育下限温度は8℃と推定されている。
- イ 幼虫は1齢から4齢までの生育ステージがあり、土中や茎葉の内部及び外部で蛹化する。成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多い。
- ウ 雌は一生のうちに平均で約260個の卵を寄主植物の葉の裏面などに産み付ける。

(2) 形態

- ア 幼虫は終齢で体長約8mmに達する。体色は淡緑色～淡赤白色で、前胸の背面後方に狭い黒色横帯を有する（写真5）。
- イ 成虫は翅を閉じた静止時で体長5～7mm、前翅は灰褐色で黒色斑が散在する。後翅は一樣に淡黒褐色である（写真6）。

4 防除対策

- (1) ほ場内をよく見回り、被害葉や被害果は速やかにほ場外に持ち出し埋設する等、適切に処分する。
- (2) 薬剤を散布する際は、表1「トマト・ミニトマトのトマトキバガに対する登録農薬」を参考に行う。なお、薬剤防除にあたっては、薬剤抵抗性発達防止のため、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。

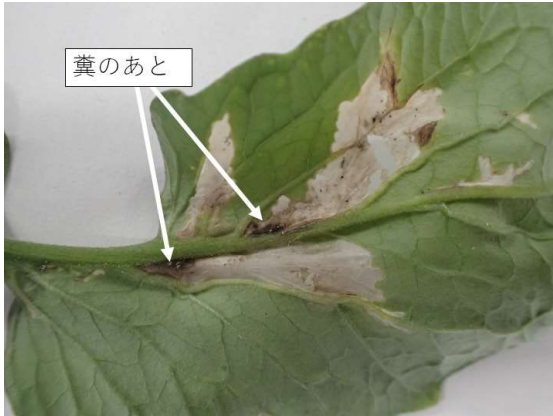


写真1
トマトキバガ幼虫による食害（葉）



写真2
ハモグリバエ類幼虫による食害



写真3
トマトキバガ幼虫による食害（果実）



写真4
果実の食痕（拡大）



写真5 トマトキバガの幼虫



写真6 トマトキバガの成虫

表1 トマト・ミニトマトのトマトキバガに対する登録農薬

殺虫剤 IRAC コード	商品名	希釈倍数・使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	マルハナバチ への影響日数	ト マ ト	ミ ニ ト マ ト
5	ディアナSC ラディアントSC	2500~5000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1~3日	○	○
5・(-)	ダブルシューターSE	1000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	—	○	○
6	アグリメック	500~1000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	7~14日	○	×
	アフーム乳剤	2000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	5回以内	2日	○	○
11A	エスマルクDF	1000倍 100~300L/10a	発生初期(但し、 収穫前日まで)	—	1日	○	○
13	コテツフロアブル	2000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	9日	○	○
22A	トルネードエースDF ファイントリムDF	2000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	6日	○	×
22B	アクセルフロアブル	1000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	8日	○	○
28	ベネビアOD	2000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	1日	○	○
	ヨーバルフロアブル	2500倍 100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	45日	○	○
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1日	○	○
30	グレーシア乳剤	2000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1日	○	○
UN	プレオフロアブル	1000倍 100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1日	○	○

マルハナバチへの影響日数はメーカー技術資料、各県の資料等を参考に設定した。